

長嶺地域コミュニティ協議会だより

平成22年1月28日 「総務会 男女共同参画事業」 「新春茶話会」 特集号
発行 長嶺地域コミュニティ協議会広報部 発行責任者 丹羽 仁(☎243-0318)

新春茶話会 ～男女共同参画に関するアンケート調査から～



長嶺コミュニティ協議会のスローガン「男女共同参加・参画地域社会の実現」に沿っての今年度事業として、「男女共同参画に関するアンケート調査」を12月に行いました。コミ協独自の「町内会・自治会活動について」の項目を盛り込んだ内容としました。130人から回答を得て調査・分析し、報告書を作成しました。そして、その報告会を兼ねて「新春茶話会」を1月28日(木)午後7時から8時30分まで、中央区役所東出張所第一会議室で大勢の方の参加をいただいて開催しました。

報告を受けて、グループ別懇談、結果発表の後、新潟市男女共同参画課 羽生課長からのコメントでは高い評価をいただきました。男女共同参画とは性別による差別をなくし、個人の尊重であると締めくくりました。



アンケート調査の説明を聞く



調査報告書



グループに分かれて話し合い



家事、育児は女の仕事?



寝たきりになったら施設へ入ろうか



新潟市男女共同参画課
羽生隆夫課長

長嶺地域コミュニティ協議会の皆様からは、3年続けてお呼びいただき感謝しています。今回、地域で独自に男女共同参画に関する調査をおこなったことは大変素晴らしいことだと思います。

市でおこなった調査と比べると、長嶺地域の皆さんは男女共同参画についての理解・意識がとても高いことがわかります。また、グループでの話し合いも活発で、噂に違わずまとまりのある地域であることを実感させられました。男女という枠にとらわれることなく、一人ひとりが個性と能力を発揮できるような社会をつくるためには、地域での話し合いと活動を積み上げていくことが大切です。皆さんの活動が他の地域のいいお手本になるものと思います。

グループ発表



このコミ協では男女半々で活動している



30年前とは男女の役割の壁は取り払われた



男性の家事参加は職場によって異なる



男女共同参画という言葉は初めて聞き役にたった



介護施設には改良点はまだある



コメント 市男女共同参画課長

— 調査報告 —

☆回答者は130人でしたが、男女別では女性58%、男性42%で年齢別では50代18%、60代39%、70代19%と地域性と配布方法などから偏りがあります。

☆男女の役割の「男(夫)は仕事、女(妻)は家庭」という考え方に賛成か反対かの問いでは、『賛成・どちらかといえば賛成』は30%、『反対・どちらかといえば反対』が、55.4%で、賛成の理由では「男性は仕事、女性は家事・育児・介護に」向いているからが35.4%。反対の理由は「男女とも仕事を持つほうがよい(経済的自立)が33.9%」「家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだ」が28.8%でした。

☆町内会・自治会活動への参加・参画については、活動への参加・参画の意識は高く「参加・参画する」の回答が総計で47.0%、町内会・自治会長については「男性でも女性でも適任の人がした方がよい」が70.0%、役員については、「男性と女性が出るだけ同数になるようにする」「男性が多くてよい」「女性が多くてよい」「わからない」と回答が4分されていました。

女性の社会進出が進んで平等の方向に向っていますが、意識ではどうなのか考えたいと思いました。

総務会副会長 小林佳子